

協会だより

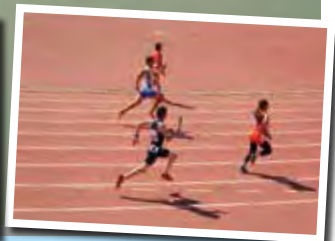
第46号

発行：富山県障害者スポーツ協会
 富山県富山市下飯野 70-4
 TEL (076) 413-2248
 FAX (076) 413-2304
 URL <http://toyama-sad.jp>
 E-mail info@toyama-sad.jp



令和5年10月28日(土)~30日(月)

特別全国障害者スポーツ大会



目次

特別全国障害者スポーツ大会 鹿児島大会参加報告 … 1

特別全国障害者スポーツ大会 鹿児島大会
参加選手競技成績一覧・役員一覧・上位入賞報告会 … 2

令和5年度 第23回富山県障害者スポーツ大会
水泳競技会・陸上競技会 … 3

令和5年度 第23回富山県障害者スポーツ大会
フライングディスク競技会・卓球競技会 … 4

令和5年度富山県公認初級パラスポーツ指導員
養成講習会 … 5

令和5年度障害者スポーツ教室・クラブ代表者連絡会議
障がい者スポーツ指導員連絡会議及び合同研修会 … 6

令和5年度障害者スポーツ審判員養成講習会 … 6

障害者スポーツ教室・クラブに参加しよう! … 7・8

世界を目指して パラアスリート紹介
とやま県民スポーツ大賞の受賞 … 9

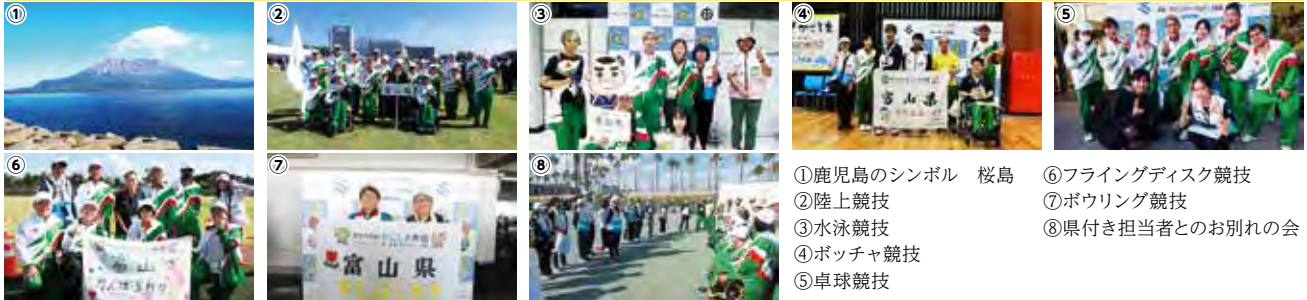
障害者スポーツ活性化事業・交流会事業
中央研修 及び 審判員養成派遣事業 … 10

令和6年度第24回富山県障害者スポーツ大会
出場選手募集
全国障害者スポーツ大会 第23回佐賀大会紹介
富山県障害者スポーツ協会からのお知らせ
編集後記 … 11

特別全国障害者スポーツ大会 鹿児島大会 参加報告

特別全国障害者スポーツ大会（鹿児島大会）が令和5年10月28日（土）から30日（月）まで、鹿児島県内各地で開催されました。鹿児島大会は第20回開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による延期で今年の開催となりました。富山県からは選手22名、役員23名の総勢45名の選手団を派遣しました。9月28日（木）に結団壮行式があり、今回から国民体育大会の選手団と合同で行われました。また、国民体

育大会の選手団と同じユニフォームに統一され、富山県の代表が一致団結し、一丸となって全国大会に臨む姿になりました。10月28日（土）に行われた開会式では、富山県選手団旗手の棚田優子選手を先頭に、県花チューリップの花束を掲げて堂々の入場行進を行いました。競技では、大会前からのおよそ2か月間の強化練習の成果が発揮され、鹿児島島の地で富山県のパワーが爆発。選手・役員が一丸となって全力を出すことができ、**金12個、銀2個、銅6個、計20個**のメダルを獲得しました。大会運営にご尽力いただきました鹿児島県の関係者に対して敬意を表したいと思います。



①鹿児島県のシンボル 桜島
 ②陸上競技
 ③水泳競技
 ④ポッチャ競技
 ⑤卓球競技
 ⑥フライングディスク競技
 ⑦ボウリング競技
 ⑧県付き担当者とお別れの会

「燃ゆる感動かごしま大会に参加して」

富山県選手団 団長 車谷 市朗さん(富山県知的障害者福祉協会 会長)

選手団は、10月27日、富山空港から羽田空港を經由して、お昼前に鹿児島空港に到着しました。空港では、ボランティアの方々からの歓迎のほかテレビの取材もあり、選手からはいよいよ大会だという高揚感が感じられました。今大会は競技ごとの分宿のため、選手団は互いにエールを交換しそれぞれのバスに乗り込みました。開会式は、陸上と卓球競技の選手・役員が参加し、秋篠宮ご夫妻ご臨席の下、チューリップを掲げて堂々と行進しました。大会では、合計20個のメダルを獲得しました。メダルには届きませんでしたが、自己ベストを更新した選手も多くいました。選手たちの日頃の練習や努力の成果が十分に発揮されたものと思っています。

閉会式では空港で別れた選手たちが再会し、お互いの活躍をたたえあい、笑顔でいっぱいでした。地元南日本新聞には、本県選手団の退場の様子やステージ前で他県の選手と一緒に盛り上がっている選手の様子が大きく紹介されました。大会期間中、早朝から夜遅くまでお世話や応援をいただいた鹿児島県の担当の方々、ボランティアの皆様へ心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



「感動した800m大会新の達成」

陸上競技・県選手団旗手 富山市 棚田 優子さん

「やったー」大会新の表示をみて思わずガッツポーズ！前回よりトラック練習量を増やし、時間を調整して競技場に通いました。個人練習なので挫けそうになった時もありましたが、自分の努力が大会新という結果を残せたことに感動しています。さらに、旗手という大役を頂き、県旗を持ち誇らしげに行進できた事は私にとって素晴らしい経験となりました。この大会をひとつのステッ

プとして今後の車いすマラソンに繋げていきたいと思っています。そしてレーサーのスピード感や迫力をたくさんの皆さんに届けられたら嬉しいです。大会開催にあたり、関わって頂いたすべての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。



「初めての全国大会」

フライングディスク競技 高志支援学校 川村 知也さん

今回の鹿児島大会が初めての全国大会で、楽しみと緊張が交わる中、一生懸命練習しました。本番一日目のフライングディスク競技、アキュラシーでは、会場の風がとても強く、思うように投げられず4位という結果でした。二日目のディスタンスでは、風が穏やかだったのでうまく飛ばすことができ、35m30cmという記録で念願の金メダルを取ることができました。この記録は車椅子で出場

している選手の中で2番目だったのでとても嬉しかったです。金メダルを取れたのは、ご指導いただき支えてくださった先生方のおかげです。とても感謝しています。本当にありがとうございました。



「全国大会に出場して」

卓球競技 滑川市 蛭川 恵吏子さん

私が全国障害者スポーツ大会に出場したのは今大会で3回目ですが、金メダルを獲得できたのは初めてでした。しかし、金メダルよりも思い出に残っているのは、鹿児島県のサポーターや他県の選手との交流です。サポーターの皆さんは一生懸命手話を覚えようとしてくださり、他県の選手とも色々な話題で盛り上がりまし

た。今大会を通して、多くの人と交流を深めることができ、素晴らしい思い出ができました。今大会に参加させてくださった皆様には大変感謝しています。本当にありがとうございました。



「初めて全国障害者スポーツ大会に参加して」 陸上競技 富山視覚総合支援学校 増山 豊輔さん

今回、特別全国障害者スポーツ大会に参加し、陸上競技「立幅跳」にて大会新記録で優勝することができました。自分は、陸上経験はありません。でも、「大会新記録で優勝する」という目標を掲げて一年かけて、日々トレーニングを積んできました。そうした日々の積み重ねが大きな結果となって表れたことは、自分にとっ

て貴重な経験でした。そして、実技指導してくれた先生方や引率してくれた先生、大会をサポートしてくれたボランティアの方々等、本当に大勢の方々のサポートにより、自分が大会に出場できたことに心より感謝いたします。



特別全国障害者スポーツ大会選手・役員 及び 大会成績一覧

競技	氏名・所属	種目	記録	順位	競技	氏名・所属	種目	記録	順位
陸上競技	笥 太陽 富山市	立幅跳	2m34	4位	水泳競技	吉田 博美 砺波市	25m背泳ぎ	23秒85	1位
		100m	12秒44	4位			25mバタフライ	21秒28	1位
	酒井 優生 富山市	200m	26秒07	6位	卓球	加藤 博史 射水市	一般卓球	0勝2敗	3位
		100m	12秒74	5位			蜷川 恵吏子 滑川市	一般卓球	2勝0敗
	法嶋 健太 砺波市	200m	29秒18	3位	S T T	徳市 和美 高岡市	サウンド テーブルテニス	0勝2敗	3位
		100m	14秒01	4位			フ ラ イ ン グ デ ィ ス ク	川村 知也 高志支援学校	ディスリート5
	増山 豊輔 富山視覚総合支援学校	立幅跳	2m22	1位	ディスリート男子 座位	35m30			1位
	村中 空寛 富山市	50m	14秒84	1位	村井 隆賀 富山高等支援学校	ディスリート5		8投	2位
		50m	14秒84	1位		ディスリート男子 立位		31m68	4位
	上田 アリス 富山聴覚総合支援学校	100m	15秒89	6位	山田 睦海 南砺市	ディスリート5		4投	6位
ソフトボール投		26m50	1位	ディスリート男子 立位		37m79		4位	
亀谷 涼 高岡高等支援学校	走幅跳	3m78	4位	坂田 朱音 高岡市	ディスリート 5	2投		7位	
	100m	15秒55	6位		ディスリート女子 立位	31m37		3位	
嶋田 幸恵 小矢部市	砲丸投	5m80	1位	ボ ツ チ ャ	黒川 航平 射水市	対 大阪府 0-2 0-5		3位	
	ソフトボール投	21m43	1位			対 鳥取県 0-1 1-0			
棚田 優子 富山市	800m	2分33秒50	1位	藤井 潤 富山市	0勝2敗 勝ち点1	6位			
	100m	22秒21	1位		ボ リ ン グ		四ツ井 学 富山市	1日目 112・125	
亀谷 涼・酒井 優生 笥 太陽・法嶋 健太	4×100mリレー	53秒12	5位	2日目 103・113		453点			
	水泳競技	立石 雄太郎 富山市	25m自由形	15秒27	5位	※金…12個 銀…2個 銅…6個 計:20個			
25m平泳ぎ			失格						
大久保 美希 砺波市		25mバタフライ	19秒30	3位					
	50m自由形	38秒27	5位						

【役員】

役 職	氏 名	機関・団体等	役 職	氏 名	機関・団体等
団 長	車谷 市朗	富山県知的障害者福祉協会	選手係	安井 浩美	富山県障がい者スポーツ指導員
副団長	布尾 英二	富山県身体障害者福祉協会	選手係	村中 修	競技指導者
副団長	深川 さおり	富山県生活環境文化部スポーツ振興課	選手係	岩田 寛	富山県障がい者スポーツ指導員
総 務	山田 二郎	富山県生活環境文化部スポーツ振興課	選手係	蜷川 優也	競技指導者
総 務	木下 登喜子	富山県生活環境文化部スポーツ振興課	選手係	名児耶 ひろみ	富山県障がい者スポーツ指導員
総 務	恒川 修	富山県障害者スポーツ協会	選手係	清水 敦志	高志支援学校
総 務	笹川 正範	富山県障害者スポーツ協会	選手係	宮腰 亨	富山高等支援学校
総 務	橘 一代	富山県障害者スポーツ協会	選手係	生駒 さち子	富山県障がい者スポーツ指導員
総 務	植野 聡	富山県障害者スポーツ協会	選手係	小島 之弘	富山県障がい者スポーツ指導員
選手係	松田 薫	高岡高等支援学校	選手係	堀井 省志	富山県障がい者スポーツ指導員
選手係	水野 秀徳	富山聴覚総合支援学校	救護係	岩井 美滯	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
選手係	若島 慎太郎	富山視覚総合支援学校			

全国障害者スポーツ大会上位入賞報告会

令和6年2月13日(火)富山県庁大ホールにて、特別全国障害者スポーツ大会上位入賞報告会が、新田 八朗富山県知事をはじめ、関係の役員の方々のご出席をいただいて開催されました。

報告会では、新田知事からお祝いの言葉があり、褒賞品が授与されました。選手を代表して水泳競技の吉田博美さんが、鹿児島大会の思い出や感謝の気持ちを交え、お礼の言葉を述べました。



第23回 富山県障害者スポーツ大会

今年度の県主催の四つの競技会は、4月に開催した水泳競技会のみ、感染症対策を講じて開・閉会式等の式典を行いませんでした。5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、以後の陸上、フライングディスク、卓球の各競技会では開・閉会式の式典を行い、有観客の競技会としました。各競技会では、コロナ禍より参加者数が増加し、はつらつとしたプレーが展開されました。

水泳競技会

令和5年4月16日(日) 会場:富山市東富山温水プール

参加者 51名(男子40名、女子11名) 身体障害9名、聴覚障害1名、知的障害41名

今年度の水泳競技会から富山県障害者スポーツ大会が幕開けしました。各市町村、特別支援学校からの参加で、会場は熱気にあふれました。富山県生活環境文化部・参事 スポーツ振興課 島谷 達雄 課長の開会宣言のあと、富山県水泳連盟 堺 武 審判長の競技上の注意、富山県障害者スポーツ協会 恒川 修 事務局長の大会遵守事項説明の後、男女・障害・年齢の区分別に8種目の競技を展開し、8つの県新記録が樹立されました。レースと並行して各レース後に表彰を行い、選手たちの活躍に大きな拍手が送られました。



陸上競技会

令和5年5月21日(日) 会場:富山県総合運動公園陸上競技場

参加者 選手229名(男子176名 女子53名)

肢体47名 視覚9名 聴覚15名 知的158名

4年ぶりに実施した開会式では、富山県生活環境文化部 杉田 聡 次長の開会宣言のあと、大会長挨拶(蔵堀 祐一 富山県副知事代読)、富山県議会議長の激励の言葉(厚生環境委員会 大井 陽司 副委員長代読)をいただきました。選手宣誓は、昨年栃木で開催された第22回全国障害者スポーツ大会(陸上競技会)に出場し好成績を取めた、黒川 航平さん(射水市)と室田 恭平さん(高岡市)が力強く宣誓しました。

最後に、富山陸上競技協会 片岡 英史 トラック審判長から、競技上の注意に加え、今年度から競走競技(スラロームを除き)は電気計時となるため、参加のあった障害区分ごとのすべての記録が大会新記録となる説明がありました。

開会式終了後、男女・障害・年齢の区分別に15種目の競技を展開し、電気計時(新基準)を行った競走競技49個、スラローム・投てき・跳躍競技で14個の県大会新記録が更新されました。競技と並行して競技終了後に表彰を行い、たくさん拍手がありました。

今回の大会では、初めて富山県障害者スポーツ協会 会長の新田 八朗 富山県知事が来会され、選手や役員の方々に激励の言葉をかけていただきました。



フライングディスク 競技会

令和5年9月24日(日) 会場:富山県総合運動公園ファミリー広場

参加者 202名(男子145名、女子57名)
身体障害66名、知的障害136名

今年は、4年ぶりとなる開会式では、富山県生活環境文化部・参事 スポーツ振興課 島谷 達雄 課長(代理 野口 貴史 主幹)の開会の挨拶のあと、富山県身体障害者福祉協会 布尾 英二 会長の激励の言葉があり、4名の来賓の方が出席されました。富山県議会 山本 徹 議長から祝電をいただき、富山県立富山高等支援学校 高等部2年 村井 隆賀 さんが力強く選手宣誓を行いました。最後に、富山県障害者フライングディスク協会 小島 之弘 競技係長から競技上の注意があり、男女・障害の区分別に競技を展開しました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を考慮し、ディスク競技のみの大会となりました。



たくさんの声援をうける中、県大会新・タイ記録こそ出ませんでした。各種目でたくさんの好記録も生まれ、秋晴れの晴天のもと大会を楽しむ様子が随所に見られました。



卓球競技会

令和5年11月12日(日) 会場:富山県総合体育センター

参加者 123名(男子79名 女子44名) 身体37名、知的72名、精神14名

今年度からコロナ前の実施状況に戻し、開会式を実施しました。開会式では、主催者を代表して県生活環境文化部・参事 スポーツ振興課 島谷 達雄 課長から、開会の挨拶がありました。来賓を代表して富山県特別支援学校長会 米原 孝志 会長から激励の言葉をいただき、富山県議会 山本 徹 議長から祝電をいただきました。続いて、富山聴覚総合支援学校高等部3年 森元 陸樹さんが力強く選手宣誓を行い、最後に富山県卓球協会レディース連盟 福林 弘子 会長から、競技上の注意がありました。昨年まで、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、参加者が減少していましたが、今年度は参加者の増加がみられ、初めて精神障害女子の選手も参加しました。競技では、今年も一般卓球、サウンドテーブルテニス(視覚障害)ともに、障害区分・男女別にそれぞれトーナメント戦を行い、白熱した戦いを繰り広げることができました。また、初戦敗退者同士で、障害区分・男女の区別なく対戦を行う交流試合を設けました。これにより、参加選手の皆さんにとって充実した大会にすることができました。



令和5年度 富山県公認初級パラスポーツ指導員養成講習会

今年度の受講者は15名。富山県総合体育センター(富山市秋ヶ島)を会場に、11月25日(土)、12月3日(日)、12月10日(日)、12月16日(土)の4日間の日程で開催しました。(講師敬称略)

1 日目

令和5年11月25日(土)

- 「各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫」
帝京平成大学准教授 泉 敏郎
- 「各障がいの理解」(肢体)
西能病院整形外科ドクター 岩澤 智宏
- 「各障がいの理解」(聴覚)
富山県聴覚障害研究会理事 土田 昌作
- 「各障がいの理解」(精神)
障害者社会復帰センターあゆみの郷センター長 上波 薫



2 日目

令和5年12月3日(日)

- 「スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質」
富山大学教育学部准教授 神野 賢治
- 「全国障害者スポーツ大会の概要」
富山県障害者スポーツ協会事務局長 恒川 修
- 「障がい者スポーツに関する諸施策」
富山県厚生部障害福祉課管理係長 實達 芳郎
富山県生活環境文化部スポーツ振興課 副主幹 山田 二郎
- 「各障がいの理解」(視覚)
富山県視覚障害者福祉センター所長 高島 豊



3 日目

令和5年12月10日(日)

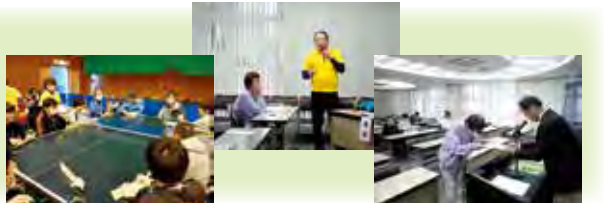
- 「コミュニケーションスキルの基礎」
富山大学教育学部准教授 福島 洋樹
- 「各障がいの理解」(知的)
社会福祉法人めひの野園うさか寮施設長 東 真盛
- 「障がい者スポーツの意義と理念」
京都産業大学教授 奥田 睦子
- 「安全管理」
JCHO 金沢病院整形外科ドクター 金澤 芳光



4 日目

令和5年12月16日(土)

- 「各地域の障がい者スポーツ推進の取り組み」
- 「障がいのある人との交流」卓球バレー
富山県障がい者スポーツ指導者協議会会長 箕島 英二



受講者の声

障害を持っている競技者と垣根を作らない。心のバリアフリーをしていくことが大切だと学んだ。グッドマン博士の「失ったものを数えるな。残ったものを最大限に活用せよ。」という言葉はとても心に響きました。

受講者の声

障害の度合いを確認しながら、指導する側のサポートが、過剰すぎるものにならないようにすることの大切さを知ることができました。

受講者の声

普段健常者に運動指導をしていて、自分では通じているだろうと思ってやっていることも、もしかしたら自己満足な部分があるのではないかと反省させられました。